



実施プログラム

いずれか
1つのプログラムを
受講できます

法政大学情報科学部・理工学部・生命科学部では、高校生の皆さんが、理科を身近なものとして捉えられるような、科学技術の先端に触れることができる体験プログラムを実施しています。
多くの方のお申し込みをお待ちしております。

プログラムコード	担当する学部	テーマ	内容	定員
A1	情報科学部 コンピュータ科学科	Twitter アプリを作ってみよう	TweetできるAndroidアプリを作ることによってプログラミングとPCでのモノ作りを体験します。初めにプログラミングとはどういうものかという説明から始め、実際に作業します。	15人
A2	情報科学部 デジタルメディア学科	3次元モーションキャプチャの体験	3次元世界を撮影できるカメラ Kinect を用いて、体の骨格の認識を行います。そして、その骨格上に各自の選んだ画像を張り付けることで、簡単なモーションキャプチャによるアニメーションを作ります。プログラミング言語Cで書かれたプログラムが提供され、その一部を書き替えて制作します。	15人
B1	理工学部 機械工学科	飛行機の操縦をしてみよう！	飛行機が空を飛ぶために必要な、揚力・迎え角・抗力等の基本的航空力学を学び、FTD(Flight Training Device：模擬飛行装置 いわゆるシミュレーター)を使用してエルロン(補助翼)・エレベーター(昇降舵)・ラダー(方向舵)【※いずれも飛行機の操縦に必要な「舵」】等を操作し、羽田空港ランウェイ34Lからの離陸、及び着陸の体験を行います。	25人
B2	理工学部 創生科学科	【もし天】もしも君が法政大学で天文学者になったら。。。。	宇宙好きの高校生たちが集まって、高校生同士でたくさん宇宙の話をするワークです。具体的には、5人一組の班を2班作って、それぞれの班で観測天文学の研究テーマを考えます。研究テーマは、高校生たちの興味にもとじて高校生同士で考えます。このワークでは実際に天体観測を行うわけではありませんが、希望者がいれば、ワンデーサイエンスカレッジ後、法政大学の30cm反射望遠鏡を使って天体観測を行い、実際に研究を進めることができます。最終的に、来年3月に法政大学で開催される日本天文学会ジュニアセッションで研究成果を発表することもできます。	10人
C1	生命科学部 応用植物科学科	植物の健康を守る－植物の病気を見てみよう	毎日見かける植物にも、病気にかかったものがあります。その原因の多くは目で見ただけではわかりづらい、菌類や細菌類です。植物の病気は庭の花や家庭菜園だけの問題だけでなく、地球上の食糧、環境問題につながります。このプログラムでは身近な植物に感染している微生物を光学顕微鏡、蛍光顕微鏡を用いて観察し、植物病の診断方法を学びます。	20人
C2	生命科学部 環境応用化学科	シリコンワールド：炭素と異なるケイ素の世界にふれてみよう	周期表において、炭素(C)と同じ14族に属するケイ素(Si)は、炭素に類似した性質を示すとともに、ケイ素独特の性質も有しています。最近では、身の回りにケイ素を原料とする物質が増えてきています。ここではケイ素の特性を学ぶとともに、簡単なケイ素材料の合成を体験します。	15人

FAXでお申し込みの方は以下にご記入ください。

FAX：042-387-6048

記入日： 年 月 日

①氏名(フリガナ)		②メールアドレス	
③ご住所			
④電話番号		⑤高校名	⑥学年
⑦ご希望のプログラムコード			
第1希望：	第2希望：	第3希望：	